



広
報

あいあい

第76号

令和7年11月15日

発行：西原地域コミュニティ協議会

TEL/FAX：028-635-7139

西原地域コミュニティセンター内

ながーい夏の思い出



★猛暑に負けず
元氣いっぱい!!

8月2日、3日、第50回ふるさと宮まつりに蓬萊町彫刻屋台が巡行した。

屋台の組み立てから展示、解体まで2週間、地域総がかりで取り組んだ。

まつり当日は、極彩色の彫刻屋台に多くの観客が目を見張り、カメラのシャッターを切っていた。

8月16日、第5回西原花火大会が行われた。一条中と青葉学園の校庭から打ち上げられた200発の花火に集まった観客は歓声を上げた。

8月30日、31日、茨城県銚田市のとちぎ海浜自然の家で西原子連のキャンプが行われ、西原小4、5、6年生31名が参加した。

大洗のアクアワールド水族館でイルカのショーを楽しんだ後、真夏の砂浜で波をかぶって大はしゃぎ。

夜はキャンプファイアーと花火を楽しんだ。翌日、自作のシーフードカレーに舌鼓を打って参加者は楽しい夏の思い出を胸に刻み込んだ。

主な内容

2P 敬老会・体育祭
3P 環境点検・古を訪ねて





お祭りは、経験したらもらえるスタンブカードを手に9つのゲームやくじのコーナーを巡る仕組みで、3年生以上は交代で全員が催事の役割についた。定番の、魚つりゲーム、輪投げ、ヨーヨー釣り、くじ引きに加え、今年はじゃんけんゲームやフラフラプチャレンジなども。

猛暑の夏休みのひととき、ゲットした景品をうれしそうに見せ合う小さな後輩たちと共に、YCC西原のメンバーも祭りとボランティアを楽しんでいる様子が見られた。



西原小子どもの家・わかば会では、夏休みの恒例行事「お祭りごっこ」を8月7日に西原小体育館で開催した。3年前から西原小の卒業生らが所属するYCC西原に協力を依頼し、ゲームの景品となる手作りおもちゃの事前作成や、当日の催事の係などで、小中高生の交流が持たれている。

●わかば会「お祭りごっこ」にYCC西原協力

10月10日、西原地区防犯協会を中心に、連合自治会、学校、子ども会・育成会が連携し、令和7年度の環境点検が行われた。安心安全な地域づくりをめざし、交通安全や防犯上、危険な場所や子ども達に有害なものの情報を地域と共有し改善を図る活動である。昨年までの7月実施から10月に変更したが、当日は夏のような汗ばむ天候の中、44人が参加した。

西原地域を7班に分け、参加者は午後2時に西原コミセンや地域の公民館や集会場に集合し事前に行った危険箇所アンケートを参考に、回る順番等を話し合っ出発。通学路の安全確認、フェンスの破損や空き家、雑草や樹木が生い茂り通行の妨げになってないかなどを確認し、写真撮影をした。3時過ぎに戻り、地域ごとに取りまとめをして解散となった。活動に同行し、毎年の有意義な活動であると感じると共に、危険箇所が改善され、より良い環境が保たれるようお願いしたい。



子ども達の安全安心を願って ★環境点検活動あこなわねる



夫婦で百歳を超えたご夫妻
花房本町
相良修一さん 103歳
相良邦子さん 100歳



9月14日、西原小学校体育館で社会福祉協議会主催の敬老会式典が行われた。YCC西原の中高生が司会進行、受付は民生委員や福祉協力員が担当し、出席者にはお祝いのお赤飯が配られた。

今年の西原地域の75歳以上の高齢者は1,182名。その中で百歳以上の方は、何と14人となった。残念ながら本人の出席はなかったが、今年百歳になられた7人には、代理の方に花束が贈られた。全体として会場にいられた高齢者は減っているように見受けられた。

75歳になられた新敬老者76人を代表して、岩本正男さんが挨拶し、式典後には記念撮影をした。

その後のアトラクションは、宇都宮ジュニアジャズオーケストラによる演奏。「月の砂漠」や「アンパンマンマーチ」など耳慣れた曲が沢山あり、出席者は体を揺らしリズムを取りながら演奏を楽しんでいた。



★令和7年度 敬老会式典



★第63回西原地区体育祭



同点優勝★伊賀町北部自治会 ↑
★茂登町自治会 ↓



10月12日、第64回西原地区体育祭が西原小学校校庭で開催された。

10自治会が12種目の競技を競い合った。特に百足競争と自治会対抗リレーでは声援もひととき大きくグラウンドが一体感に包まれた。最後に災害訓練を模した体験競技も行われた。参加者は、酷暑で外出も阻まれた夏を跳ね返すかのように体を動かし、爽やかな汗を流して秋晴れを存分に楽しんだ。

少子高齢化社会の壁は厚く不参加を余儀なくされる自治会もある。大会を存続させるための大きな課題だ。

1位 茂登町自治会
〃 伊賀町北部自治会
3位 花房本町自治会



いにしえ 古を訪ねて



南新町上組
手塚章雄さん (91)



手塚章夫さんは長きにわたり体育指導を続けている。地域では西原体育協会会長を6年、体育指導員を20年勤めた。高校と実業団でバレーボールに心血を注いだ。子ども達が西原小学校の高学年になったころ、スポーツをさせたいと思い、女子バレーボールチームと男子サッカーチームを立ち上げた。その一方でママさんバレーボールの指導もして、監督として全国大会に出場した。栃木県、宇都宮市双方のバレーボール連盟の立ち上げに尽力をし、現在は顧問を務めている。

月に一度のコミュニティセンターで行われる「歌声ひろば」には、ヘルメットを被りリュックを背負い自転車を通う。歌の合間の休み時間には、軽い体操や後出しじゃんけんなど筋トレや脳トレの指導を率先して行う。家族と行う誕生会が何よりも楽しみだという。

「みんなに出来るだけ迷惑をかけないように自分のことは出来るだけ自分でやります」と背筋をピンと伸ばした。若い時から身体を鍛えてきた証に違いない。



あいあいサイト



行事予定

・地域PTA文化祭
11月29日
コミセン作品展
11月28・29日
・どんど焼き
令和8年1月11日



《あとがき》 高齢の、恩師を訪ねた時、傍らに数冊の本があった。その姿に、私も生涯、常に読みかけの本を持ち歩くような心の豊かな人生を送りたいと思う。そう語ってくれたのは、中学時代、憧れていた現代国語教師だ。新しい本もいいが、昔読んだ本を読み返すのもまたいい、とも言っていた。虫の声、秋の夜長の訪れと共に思い出される、ささやかな人生の道しるべ。(K)



●老人会と健康づくりコラボ 「いきいき体操教室」

9月8日、健康づくり推進員会では、老人会とのコラボ事業として「いきいき体操教室」を開催した。佐藤会長の「猛暑で運動がままならない毎日、少しでも体を動かそう」との呼びかけに、26人が出席した。
松本美佳子先生の分かり易いストレッチで縮んでいた関節や筋肉を無理のない程度に動かしたりフレッシュできた。最後に肩を組んで行った脳トレゲームも楽しく、笑いにあふれた。健康グッズをお土産に、また是非やってほしいという声が上がっていた。



10月8日のいきいきライフ5回目は、ヤクルトの健康教室。おなかの健康についてぬいぐるみを使いながら、食べたものが消化吸収される胃腸のしくみについて分かり易く話していただき、乳酸菌の働きも良く理解できた。
40人を超える参加者は、興味深く話を聞いた。便秘予防体操のあとには、いただいたヤクルトを飲んで乾杯した。

◆いきいきライフで 「おなかの健康」学びます



まだまだ目指す200名山、300名山を！



100番目は平ヶ岳（平成23年8月21日）
鈴木カツ子さん

100番目は天城山（平成15年4月5日）
菊地成人さん



●趣味ゆうゆう



三百名山達成の 鈴木 隆 さん（平成13年10月27日）

〔花房自然探勝会〕
●三百名山踏破達成！
鈴木 隆さん
●百名山達成
菊地成人さん
鈴木カツ子さん